



浜家連 ニュース 3月号

第199号

平成29年（2017年）3月1日発行

○発行人 特定非営利活動法人 横浜市精神障害者家族連合会
事務局 〒222-0035 横浜市港北区鳥山町1752番地
障害者スポーツ文化センター 横浜ラポール3階
電話 045(548)4816 FAX 045(548)4836
URL <http://hamakaren.jp/>

精神障害以外の障害の世界を覗いて

副理事長 松本やす子

本年1月29日（日）金沢区障害者理解講座が、主催：社会福祉法人すみなす会金沢地域活動ホームりんごの森。共催：金沢区役所、金沢区障がい福祉保健“いきいきネット”金沢区障害者地域自立支援協議会。後援：金沢区社会福祉協議会。協力：金沢区障害者地域作業所連絡会の団体で執り行われました。

前半に、区内障害者団体（区作連）全施設活動の様子を映像にしたものが写し出されました。この映像は、当作業所（青いとり作業所）職員が中心に、各施設職員の有志が勤務時間の忙しい中走り回り、夜に編集作業などで作り上げたものです。映像に合わせたバック音楽よし、各施設利用者のはつらつとした笑顔がいい。体の不自由な人・言葉が出ない人等々、障害の幅は大小様々でも精一杯、喜びの表情が写し出されていました。職員もコスチュームを着てメンバーの中に溶け込んだストーリーになって良い映像でした。



後半「うすいまさとライブ & トーク」がありました。うすいまさとさんは43才、自閉症の長男（16才）、次男ア

ライブで買ったCD

スペルガー症候群、長女ウェスト症候群3人の障害を持ったパパさんでした。元、鹿内タケシとブルージーンズのボーカルで活躍をされていた方。



職員の着ぐるみ
ポレポレンジャー

今、発達障害児と共に生きるシンガーソングライターとしてNHKハートネットTVなどで取り上げられている。声が素晴らしい、歌詞がいい、好青年。

子供が生まれた時から現在までの親子の生活そのものが歌詞になっている。保育園で、学校で、子供の目・親の接してきた日々「脳之歌」「君の手を離すその日まで」ほか、明るく、楽しんで子育てしているような「ライブ&トーク」でした。なのに聴いていて涙が止まらなかった。

これほど自分の子供に愛情持って育てたかの反省と、このうすいパパさんが自分の息子であつたらと思った時胸が痛みました。障害だからとあきらめない、甘やかさない、子供の備わっている能力を必死に探り出し、1日1日それぞれの個性を持った子供と共に、工夫して発見をして生きている。感動を頂いたライブで心に残りました。



◆28年度単会会長交流会が開催されました◆

昨年は単会交流会として、「会長またはこれに準ずる者」と間口を広げて開催しましたが、今年はこのこれまでの単会会長交流会として開催しました。この会議の報告が届いています。

28年度単会会長交流会に出席して

毎年開催されている単会会長交流会が今年も1月27日（金）に行われ、市内18区の会長（2区欠席）16名が出席をして、それぞれの単会が抱えている悩みなどを話し合いました。

事前に各単会は28年度の事業報告を提出していて、今回は配布された各区の資料に目を通しながら、各区の抱えている問題点を話し合いました。

ほとんどの単会が共通して悩んでいることは
①会員が増えない ②例会への出席者の減少
③役員を引き受け手がいない ④若い人が入らない などがあげられました。会議では若杉会（戸塚区）がホームページを作成し効果を上げているという報告以外、これといった解決策は見つからなかったのですが、2月の理事会で宮川理事長から解決法の提示がありました。

- ①→ワーカーさんや関係団体をお願いする。病院やクリニックへの入会案内の配置。区主催の家族教室での紹介。ホームページによる宣伝。家族学習会の開催。
- ②→例会内容の充実。例会以外にも集まる機会をつくる。
- ③→仕事の分散化、係りを細かく分類し多くの会員で負担を分かち合う。
- ④→ホームページの作成、若い人の集まりの機会を持つ。 などでした。



いずみ会会長 横山 芳江

先日、娘の主治医に「家族会への入会者がいない。困っているご家族はいますよね？」と聞いてみました。先生は「若い家族はネットで情報を得ている人が多い。家族会、例会という形よりサロンのような雰囲気のある場をつくり、気軽な場で悩みを話してもらいながら家族会へつなげていく方がよいのではないか」と回答を頂きました。（なるほど…）

先輩方が作り上げてきた家族会の輪、通信手段がいかに進歩してもそれらは優しい言葉は掛けはくれない、背中を支えてはくれない。大切なのは一緒に支え合う人の輪。それらを念頭に置きながら家族会の意義を伝えたい。役員だけが悩むのではなく、家族会として何ができるのかを一緒に考えなくてはならないと感じた会議となりました。

泉区を含む旭区・保土ヶ谷区・瀬谷区で構成されているBブロック（なごみ会）は来年度はブロックフォーラムがお休みの年となります。この期間にブロック内で情報交換を行い、悩みを話し合うのも一案ではないでしょうか。会長一年生の私は他の会がどのような活動をし、その反応はどうだったのかを聞き、参考にさせていただきたいと思っています。

次回の会議では今回の問題も含め「〇〇区ではこんな試みをしてみました」そんな報告が聞きたい、したいと感じました。

◆「横浜市の精神保健福祉の案内（第5版）」が発行されました◆

「横浜市の精神保健福祉の案内（第5版）」について

昨年12月に浜家連版の「横浜市の精神保健福祉の案内（第5版）」が発行されました。これは、平成14年に初版が発行されてから12年後の平成26年に、第3版として2,500部を会員と関係団体・個人に配布（頒布）したガイドブックの改訂版です。浜家連のホームページで閲覧できますが、予算の関係で印刷物は各単会2部の限定配布になっています。



内容は、I.家族の対応、II.国や市の精神保健福祉の制度と支援サービス、III. 資料編（支援機関一覧）の3部からなり、市の「福祉のあんない」とは異なり精神保健に焦点を絞っています。70ページを超える資料編は、区役所、社協、病院・クリニックから訪問看護ステーションやグループホーム、ボランティアなど、公私にわたる市内の社会資源の最新情報を網羅しています。ぜひご活用ください。

関係機関からのご要望もあるので、今回は用紙・印刷代実費500円で頒布することになりました。ご入用の方は各単会役員を通じて申し込んでください。

ガイドブック編集プロジェクト

障害年金をあきらめていませんか？

浜家連顧問社労士をお願いしている小山志郎先生から「障害年金の受給について、ぜひ皆さんに知っていただきたい事例がある」と原稿を寄せて下さいました。



母は強し！！（障害年金受給体験記）

最近ありました母親の絶対に諦めない根性と熱意によって、無事障害年金が受給できた成功体験をご紹介します。

これは約1年半前のことになりますが、当事者が長女（40才）統合失調症でその母親より障害年金を受け取りたいとの相談を受けました。

早速、障害年金の受給要件の1つである年金加入状況を調べたところ、年金の加入期間が短く、結果として初診日は年金の加入要件を問われない20才前であることがわかりました。

母親と面談し検討したところ、20才前に初診として受診したところは20年以上前に近所の脳神経外科であることが判明しました。その脳神経外科へ受診証明書の発行を依頼したところ、既に破棄してしまい証明できるものは受診日のみと言うことで、受診日だけの証明書を入手しました。これを初診日として年金事務所に申請手続きを行いましたところ、約3か月後に日本年金機構より結果通知書が届きました。

その結果ですが、初診日を検討したところ脳神経外科で受診した際の病名が定かでないし、外科と現在の病名はむすびつかない等の理由により、他の要件はすべて満たしていましたが、却下となりました。

・・・まずはご相談下さい。あなたのご苦労引き受けます。・・・

連絡先 小山社会保険労務士事務所
TEL 045(382)8131
FAX 045(382)8178
携 帯 090-2668-6366

浜家連顧問社労士 小山 志郎

そこで立派だったのは母親です。親亡き後の子供の将来を考えると、「このまま諦めるわけにはいかない」との強い決意があり、再度、新規に再申請を行うことになりました。

再度、検討を重ねた結果、初診日当時、母親には勤務していた歯科医院（既に廃院）があり、当時の歯科医師に当事者のことをいろいろ相談していた事実があることがわかりました。早速、母親が当医師と会い当事者の精神の病を疑わせる様子などを「初診日に関する第三者申請書」に記入して頂き再度、年金事務所に申請しました。

約3ヶ月後にその結果が届きまして、障害基礎年金（2級）年78万円（月6万5千円）で決定しました。決定の知らせを母親に電話で伝えた時の母親の喜びの声が今でも忘れられません。この結果を呼び寄せたのは、母親の最後まで諦めないで取り組んだ熱意以外の何物でもありません。

現在、障害年金が受け取れずお悩みの方がおられましたら、この母親のようにもう一度挑戦してみてください。よい結果を招くには挑戦するしかありません。

※外出が多いのでお電話は携帯へお願いします。

グループホームモニター委員から

昨年7月号の浜家連ニュースで、グループホームのモニター委員について紹介しましたが、現在、浜家連から10名近くの方がモニター委員として活動されています。委員の方から活動について、メッセージが届きました。(長文のため、2月号・3月号の掲載となります)

B型グループホームのモニタリング活動から(その1) わかば会 植木秀子

平成24年浜家連常任理事会の時、障害者支援センターからグループホームのモニタリング活動に参加への呼びかけがありました。知的、身体、精神3障害のB型グループホームへのモニタリングを行うとのことでした。

グループホームにA・Bなどという形があるとも知りませんでした。A型は公のところが経営し規模も大きい施設です。B型はNPO法人などが運営している少人数のグループホームです。

B型グループホームモニタリングは、少人数で暮らすことのできる良さがある反面、他所から見えづらいつという事で、運営や援助内容に人権尊重の配慮がされているかを見守るために行われるものと説明を受けました。

私はグループホームに漠然とした関心がありました。どんな環境の場所にあり、どんな生活をされているのかしらと興味しんしんでした。そして今までに6ヶ所のグループホームのモニタリングをさせていただきました、

グループホームを訪問する時にはモニタリン

グ委員とモニタリングスタッフ1名の計3名で訪問します。訪問するときは利用者さんが作業所などから帰ってくる時間にあわせて訪ねますので主要駅に3時頃集合、バスで10～20分位かかる場所が多かったと思います。建物は築5～6年がほとんどでしたが、10年以上の木造の1戸建てが何軒もあり、食事をするのに隣の建物に移動するという所もありました。



印象に残ったグループホームもあります。精神・知的の方たち男性3名・女性2名入居されていました。築2年位の真新しい建物で3階建の1階部分はケーキとコーヒーを売る喫茶店で、利用者とは別の作業所が運営していました。2階3階が居住部分で、食堂と職員の事務室が2階にありました。1階玄関からエレベーターありますが、階段でも移動できるようになっています。部屋はすべて個室で中からカギがかけられるようになっていました。スプリンクラー設けられていました。また、バス停がグループホームのすぐ近くにあり、交通の便が良い所だと思いました。

(つづく)

◆事務局から◆

1月から非常勤職員として宇野直子さん(白梅会会員)が浜家連事務局に入りました。勤務は原則として火曜日・水曜日 10:00～15:00です。

自己紹介

何か少し仕事がしたいなあと思っていたところに、たまたま思いがけず身近なところからお話があって一月からお手伝いを始め、今試用期間中です。松江市出身、都内25年、横浜市30年余りになります。不器用で慣れるのに時間がかかるかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

宇野直子



【編集後記】 春一番が吹きました。まだまだ厳しい寒さが続きますが三寒四温、春の足音が一步一步近づいています。花粉症の人にとってはつらい季節になりそうですが・・・。

各単会では来年度の活動に向けて動きはじめていることと思います。実りある1年になるような計画が立てられることを祈っています。

(事務局 中居)